

児童 自由に芸術表現

好間一小 巨大キャンバス使う 土曜学習



リズムに合わせて線

はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト2016「夢の学び舎―いわき学校プロジェクト 好間土曜学校」は二日、いわき市の好間一小で開かれた。県立博物館が県内のNPOや学校、文化施設などと協力して取り組んでいる復興支援を兼ねたアートプロジェクト事業の一環。今回はいわき市が取り組む

大きなキャンバスに鉛筆を使って自由に線を描いた子どもたち

土曜学習としても行われた。

好間一小の児童約四十人が参加した。神奈川県を拠点に全国で活動している美術家中津川浩章さんが講師を務めた。児童は縦約一メートル、横約十メートルの大きなキャンバスに、鉛筆を使って思うままに線を書き込んだ。音のリズムに合わせて線を引いたり、利き手と逆の手を使って描くなどし、子どもたちは自由に表現した。九日、十六日にも好間土曜学校を開き、最終的に一つの作品を作り上げる予定。